

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級することへの憧れや喜びを感じながら過ごす。</li> <li>異年齢児との関わりを喜ぶ。</li> <li>春の訪れを感じ、季節の変化に気付いたり喜んだりする。</li> </ul>	子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>身支度や手洗い・うがいなど自分からするようになっている。</li> <li>木や草花の名前を図鑑を通して知ったり、探したりして楽しんでいる。</li> <li>自分なりの表現を見てもらうことを喜んでいる。</li> <li>ごっこ遊びや表現遊びを友達や保育者と楽しんでいる。</li> <li>友達や保育者と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しんでいる。</li> </ul>	行事	<p>1日 ひなまつり</p> <p>19日 おはなし会</p> <p>22日 身体測定</p> <p>22日 避難訓練</p> <p>29日 お別れ会</p>
内容		環境構成		保育者の援助及び配慮	
養護 ○生命 ・情緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い、うがいをしっかりと行い換気や清掃で感染予防に努める。</li> <li>運動量も増えるので休養をしっかりと取り、体調を崩したり大きな怪我が起きないように配慮する。</li> <li>生活の中で困っていること、手伝ってほしいことなどを、保育者に伝えられるよう配慮する。</li> <li>小さな成長や、子どもの頑張りを見逃さずに認めていく。</li> <li>1年間の子どもの成長を認めることで、自信を持って進級できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い、うがいの声掛けをこまめに行う。</li> <li>体を動かす時間と、ゆっくりと体を休める時間をしっかりと確保し、計画する。</li> <li>事前に声掛けをしたり、保育者がそばで見守る環境設定をする。</li> <li>子どもの行動がよく見える位置で保育者は見守るようにする。</li> <li>成長したところやできているようになったことを子どもたちと思い返したり、話す時間を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者が見本となるよう、積極的に手洗いやうがいを行っていく。</li> <li>午睡の際など、子どもが安心して休めるよう保育者がそばで見守るようにする。</li> <li>一人ひとりの表現の仕方をよく理解し、小さな訴えやサインなどを見逃すことがないようにしていく。</li> <li>一人ひとりの頑張りや成長と一緒に喜んでいけるように声をかけたり、子どもと話をする時間を作っていく。</li> <li>子どもに分かりやすい言葉で伝えていくようにする。成長と一緒に喜び、自信を持って進級していけるようにする。</li> </ul>		
教育 ○健康 ・人間関係 ・環境 ・言葉 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の流れに見通しをもち、進んで身のまわりのことをしようとする(鼻をかむ、手洗い・うがいをする、防寒着や衣類の片付けなど)また、行うことの大切さを知り、丁寧に自分から取り組む。</li> <li>のびのびと体を動かし戸外遊びを楽しむ。</li> <li>自分で排泄の始末をしようとする。</li> <li>簡単なルールのある遊びを友だちや保育者と楽しむ。(中当てドッジボール、けいどろ、リレー遊びなど)</li> <li>保育者の手伝いや食器の片付けなどを楽しみながら進んで取り組む。</li> <li>異年齢児との関わりを喜び、親しみや憧れの気持ちをもつ。</li> <li>ひな祭りの行事に参加する。</li> <li>木や植物に興味を持ち、図鑑を見たり名前を知り喜ぶ。</li> <li>ロッカーや玩具等使っていたものを、自分たちで整理整頓しようとする。</li> <li>5歳児に感謝の気持ちを伝えたり、プレゼントを作り思いを持って渡そうとする。</li> <li>友だちや保育者へ自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを聞いたり気付こうとする。</li> <li>ひな祭りの由来を知り、制作を楽しんで行おうとする。</li> <li>様々な素材に触れ、制作などで自分なりの表現を喜ぶ。</li> <li>友だちや保育者と絵本や紙芝居を楽しみ、物語をイメージする。</li> <li>様々な歌を楽しみながら歌う(うれしいひなまつり、はるがきた等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防寒着は、片付けやすいようにジャンパーかけを用意する。</li> <li>手洗い、うがい、鼻をかむなど、気付いた時に自分でできるように、コップやティッシュペーパーを取り出しやすいように設置しておく。</li> <li>じっくりと戸外遊びができるように時間設定をする。</li> <li>必要に応じて保育者が近くで見守ったり、ペーパーの長さを見せて伝える。</li> <li>子どもたちに分かりやすいルールを少しずつ伝えていく。</li> <li>食器が置きやすい位置にトレイなどを準備しておく。</li> <li>異年齢児との交流で、一緒に楽しめるような遊びを取り入れる(リズム、体操、楽器遊び等)</li> <li>ひな祭りに興味を持てるような絵本や紙芝居を準備しておく。</li> <li>散歩先で見られるよう1人1冊ずつ図鑑を準備しておく。</li> <li>雑巾や玩具拭きを準備しておく。</li> <li>プレゼントで使うものを買に出かけたり、感謝の気持ちを伝える機会を作る。</li> <li>保育者は近くで見守るようにしていく。</li> <li>制作に必要な材料を準備しておく。</li> <li>制作で使える様々な素材を準備したり子どもの遊びに取り入れていく。</li> <li>子ども同士でも楽しめそうな絵本を準備しておく。</li> <li>ピアノやCDデッキを準備する。子どもの反応に合わせて楽器も取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの様子を見て、自分でできた満足感や達成感を味わえるように声を掛ける。</li> <li>事前に声をかけるなど、困った時に子どもから言葉や表情で伝えられるようにしていく。</li> <li>保育者も子どもと一緒に体を動かして遊びを広げられるようにしていく。</li> <li>不安がある子どもには保育者が近くにいるようにしていく。必要に応じて援助する。</li> <li>保育者が間に入りながら、子どもたちと楽しく遊びの中でルールを知るようにする。</li> <li>子どもたちのやりたいという気持ちに合わせて声を掛けたり、取り組みには感謝を言葉にして子どもたちに伝えていく。</li> <li>年上の友だちの遊びを真似て遊びを広げたり、年下の友だちとの関わりも喜べるように声を掛けていく。また必要な場合には保育者が間に入るようにする。</li> <li>ひな祭りの行事に楽しんで参加できるよう声を掛けていく。また、歌をうたったり、由来を絵本や紙芝居で伝え子どもが関心を持てるようにしていく。</li> <li>散歩先までの道など子どもと一緒に発見を楽しめるようにしていく。また、子どもの発見や驚き、喜びに共感していく。</li> <li>1年間使ったものを大切に次の学年に渡したり、綺麗にすることを喜べるようにしていく。物を大切に使うということを子どもたちと一緒にやっていくようにする。</li> <li>子どもたちが自分で作ったという思いをこめられるよう、制作を進めたり子どもたちの思いを丁寧に汲み取っていくようにする。</li> <li>子どもの発見や感動を受け止め、他児にも言葉で伝えたり、一緒に体験したりする。</li> <li>思いを友だちへ伝えようとする姿を認めたり、友だちと気持ちがぶつかった時にも、傍で見守り、子ども同士で解決しようとする姿を認めていく。</li> <li>制作を楽しめるように声を掛けながら行う。完成を保育者が一緒に喜び、子どもの思いを丁寧に聞いていくようにする。</li> <li>子どもの楽しい気持ちに寄り添い表現する喜びを感じられるようにしていく。</li> <li>絵本をじっくりと読めるような室内環境や生活の流れを作っていくようにする。</li> <li>様々な歌を楽しみながら歌えるように雰囲気作りや環境を作っていく。</li> </ul>		
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひな祭りの行事食や会食を喜ぶ。</li> <li>保育者や友だちとの食事を通して食事のマナーを知り、自分から行おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の時に使用する食材を絵本や写真でわかるよう用意しておく。</li> <li>食事のマナーを守って食べる保育者の姿勢を示す。</li> <li>子どもが準備や片付けしやすい机の配置などを整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事は保育者自身も楽しんで参加し、行事食について一緒に興味を示しながら楽しんで食事をとる。</li> <li>難しいところはさり気なく援助して「自分でできる」自信をもち、食事のマナーが身につくようにする。</li> </ul>		
家庭・地域との連携		保健・安全		月の反省と自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>登降園の際や連絡帳で子どもたちの1年の成長を保護者と共有し合えるようにする。</li> <li>公園や散歩先などで地域の人に挨拶をしたり、関わりを喜べるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を通して、身を守る方法を知る。</li> <li>加湿器などを使用し、室内の換気や加湿などに努める。</li> <li>一人ひとりの体調を把握し、戸外に出る時間も調整しつつ充実して遊べるようにする。</li> </ul>			